

中津川市上下水道だより

冬季の水道管凍結にご注意ください

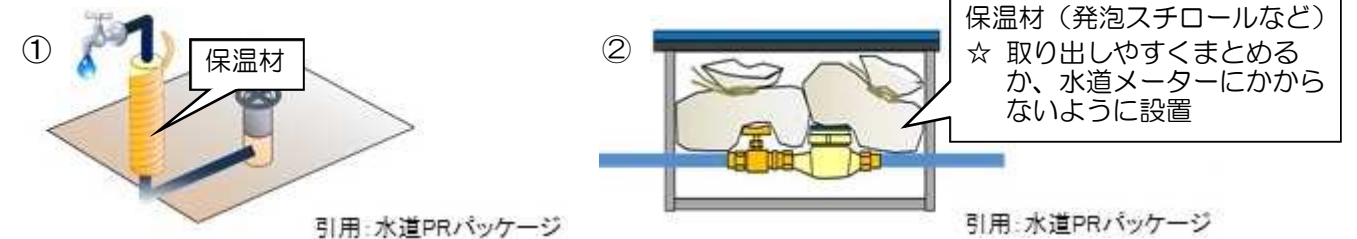
中津川市でも例年12月下旬ころから水道管が凍結し、宅内で漏水が起こるなどの被害が報告されます。目安としては、気温が氷点下4℃以下になると水道管が凍結しやすくなります。屋外の日陰、風当たりの強い、水道管が露出している場所は特に注意が必要です。

宅地内の水道管、メーターはお客様で管理していただくものです。漏水対応にかかる費用はお客様負担となりますので、早めに水道管の水抜きや保温といった凍結予防をし、こまめに点検をして冬季に備えましょう。

〈屋外水栓やメーターの保温〉

- ① むき出しになっている水道管は、保温材や保温ヒーターで保温してください（保温ヒーターのコンセントの入れ忘れにご注意ください）。
- ② メーターボックスの蓋（ふた）が金属製の場合は、発泡スチロールなどの保温材※をボックス内に入れると有効です。

※検針員による毎月の検針業務に支障がないように設置してください。



中津川市上下水道事業経営審議会を開催しました

令和6年8月9日に第5回中津川市上下水道事業経営審議会を開催しました。

上下水道事業における、令和5年度の決算及び令和6年度の当初予算の概要を説明、水道事業に関しては、経営環境と財政見通しについて説明させていただき、整備計画や整備の方針、企業債の借入割合に対するご意見を伺いました。

今後も引き続き、昨今の物価高騰等の要因や、使用者による適正な費用負担等を踏まえた経営戦略の見直しについてご審議いただき、令和6年度中に答申をいただくことを目指します。

〈内容〉

1. 水道事業
 - ・令和5年度決算の概要について（速報値）
 - ・令和6年度当初予算の概要について
 - ・今後の経営環境・財政見通しについて
2. 下水道事業
 - ・令和5年度決算の概要について（速報値）
 - ・令和6年度当初予算の概要について

※詳細はホームページをご覧ください。



補助金のご案内（水洗化のお願い）

くみ取り便所または単独処理浄化槽から下水道へ接続される場合、
接続補助金が交付されます。

★下水道接続事業補助金★

（3年間限定：令和6年4月1日～令和9年3月31日）

単独浄化槽撤去費	くみ取り便所撤去費	宅内配管工事費
限度額 12万円	限度額 9万円	限度額 30万円

※限度額を超えない工事には、補助金は満額交付されません

【補助対象者】

- ・トイレだけでなく、すべての生活排水を下水道へ接続される方
- ・排水設備の工事を施工した場所に定住される方
（住宅を別荘等で使用される場合は補助金対象外）
- ・市税等の滞納がない方（下水道受益者負担金・分担金も含む）
- ・個人が所有する一般住宅又は、居住面積が2分の1以上の併用住宅
（販売等、営利目的の建物は補助金対象外）



【注意事項】

- ・工事は「中津川市排水設備指定工事店」にて施工すること
- ・単年度事業のため、申請年度内に工事が終了すること
- ・工事着工前に必ず補助金申請をすること（市許可後の工事着手）

補助金申請には、上記以外にも様々な条件があります。

申請前に、ホームページをご確認いただくか、下水道課へご相談ください。



下水道接続で、より住みやすい居住環境を作りませんか？



水道事業

令和5年度に実施した主な事業



●中津川駅周辺管路更新工事

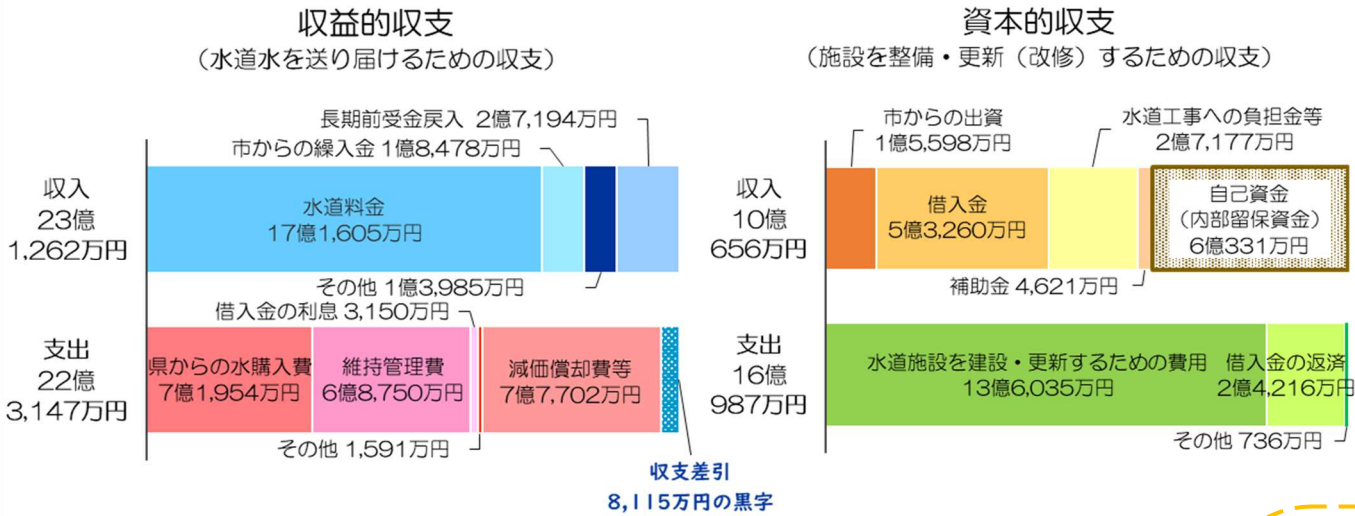


●原浄水場（山口）シフォンタンク



●漏水調査

令和5年度 決算の概要



経営指標

	令和5年度	令和4年度	前年比	類似団体平均値 (令和4年度)	説明
経常収支比率	100.07%	94.46%	5.61%	109.09%	給水収益等の収益で維持管理費等の費用をどの程度賄えているか
料金回収率	87.57%	87.65%	▲ 0.08%	98.30%	給水にかかる費用がどの程度給水収益で賄えているか
有形固定資産減価償却率	42.63%	42.15%	0.48%	50.99%	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるか
管路経年化率	21.29%	22.31%	▲ 1.02%	21.69%	法定耐用年数を超えた管路延長の割合
管路更新率	0.71%	0.50%	0.21%	0.60%	当該年度に更新した管路延長の割合

用語解説

減価償却費

長期間にわたって使用される固定資産の取得費を、その資産が使用できる期間にわたって費用を配分したものです。

長期前受金戻入

固定資産取得のための収入源に補助金などがあった場合は、収益も減価償却と同じ期間で配分します。



水道事業については、令和5年度収支として8,115万円の純利益を計上し、**黒字**決算を結ぶことができました。これは、市の物価高騰対策である料金改定見送りに伴い不足する財源補てん（市からの繰入金）により収入が増えたためです。このため、経営の健全性を示す経常収支比率は100%の水準を上回りましたが、料金水準の妥当性を示す料金回収率は、100%の水準を下回る結果となりました。また、管路経年化率は前年と比較し減少しましたが、施設の老朽化は進んでいるため、更新費用の平準化を図りながら計画的な施設更新を行ってまいります。

下水道事業

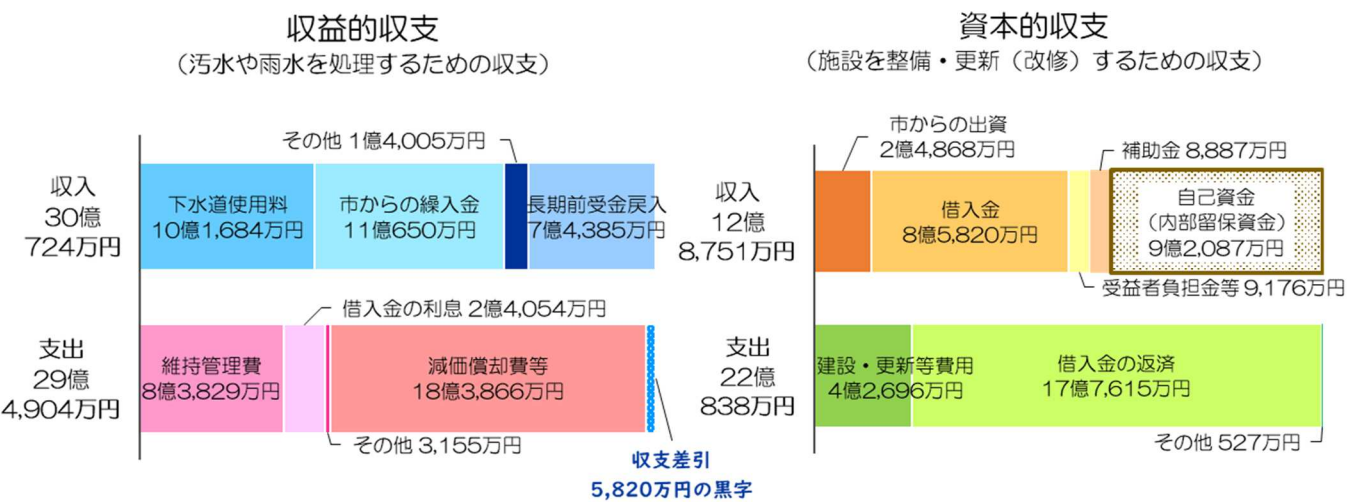
令和5年度に実施した主な事業



リニア駅周辺区画整理事業の様子

- リニア駅周辺区画整理事業に合わせ、未普及エリアの下水道整備を実施
- ストックマネジメント計画に基づく、マンホールポンプの制御盤更新
- 不明水調査の実施

令和5年度 決算の概要



経営指標

	令和5年度	令和4年度	前年比	説明
経常収支比率	97.25%	104.55%	▲ 7.30%	下水道使用料収入等の収益で維持管理費等の費用をどの程度賄えているか
経費回収率	95.30%	101.65%	▲ 6.35%	使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているか
有形固定資産減価償却率	14.86%	11.51%	3.35%	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるか
管渠老朽化率	0.00%	0.00%	0.00%	法定耐用年数を超えた管渠延長の割合

※下水道はまだ管渠の法定耐用年数が到来していません

下水道事業については、令和5年度の収支は5,820万円の純利益を計上し、**黒字**決算を結ぶことができました。物価高騰により維持管理費は増加しているものの、資産の償却及び借入金の償還が進み、減価償却費、借入金の利息が減少したことで黒字を維持しています。経常収支比率、経費回収率の両指標について、100%の水準を下回っており、収入の減少、維持管理経費の増加傾向がみられます。今後の借入金の返済、施設更新に備え、収入源の維持、経費削減に努める必要があります。また、施設、設備、管渠の老朽化が想定されるため、ストックマネジメント計画に基づき整備を進めてまいります。